

文字だけの画面を見かけたら

なぜこの講座では、黒い画面に命令を打たないのか

少し前まで、Codexは「黒い画面」で使う 道具でした。

文字だけの画面に、決まった言葉を打ち込んで動かします。いまネットにある記事や動画には、これを前提にしたものが残っています。

同じCodexでも、入口が2つあります

これまで



黒い画面に、決まった文字を打ち込む



いまはこちら



いつものアプリの画面で、日本語で頼む

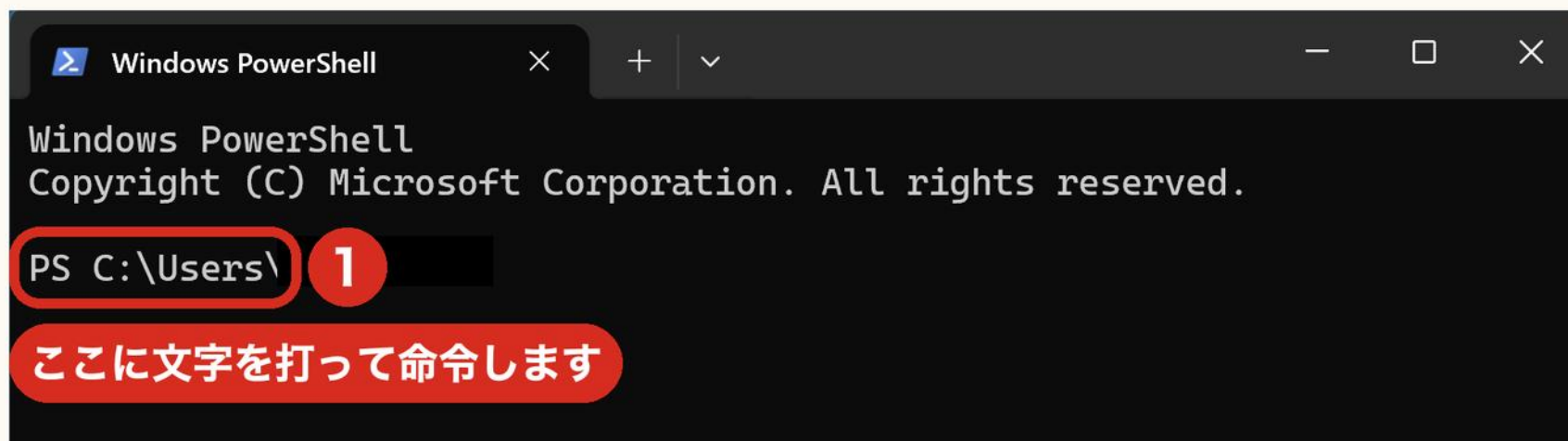
入口が違うだけで、できることは同じです。

どちらも中身は同じCodexです。黒い画面を使う人と比べて、作れるものが少なくなったり、性能が落ちたりすることはありません。打ち込む文字を覚えなくていい、という違いだけです。

**だから、この講座で黒い画面に命令を打つ
ことは、一度もありません。**

それでも、見かけることはあります

パソコンに前から入っている画面です。自分で命令を打つことはありませんが、正体を知らないと「自分には無理そうだ」と思ってしまうので、実物だけ見ておきます。



これが実物です。マウスで押せるものが何もありません

ターミナル

Terminal (ターミナル) / CLI (シーエルアイ)

文字を打ってパソコンに命令する画面のこと。マウスは使わず、キーボードだけで操作します。記事では CLI (シーエルアイ) や コマンドライン と書かれることもあります、どれも同じものです。

この講座で自分が命令を打つことはありません（第3章の道具を動かす時に黒い窓が開きますが、Y を押すだけです）。名前を知っておくと、ネットの記事を読むときに「これは自分には関係ない話だ」と判断できます。

つまずきポイント

黒い人もいれば、白い人もいます

画面の色は人によって違います。設定やパソコンの種類で変わるだけで、色に意味はありません。「黒い画面」と書いてある記事を見て、自分のが白くても、同じものです。

つまずきポイント

ネットの記事には、この画面を前提にしたものがあります

「ターミナルで次を実行」と書いてあったら、それは黒い画面を使う人向けの書き方です。同じことはアプリの画面でもできるので、真似しなくて大丈夫です。読み替え方は特典Dにまとめてあります。

この回で残るもの

見かけても、怖がらずに閉じられます。

アプリの中に出てくることもあります、そのまま閉じて構いません。